

西毛広域幹線道路(高崎西工区) 政策1 災害レジリエンスNo.1の実現  
バイパス整備事業 施策3:防災インフラの整備(中長期レジリエンス戦略)

事業概要

- 所在地:高崎市箕郷町下芝 ~ 下里見町
- 路線名:主要地方道 前橋安中富岡線
- 事業内容:バイパス整備 延長4.7km 幅15.0~23.25m
- 全体事業費:約165億円
- 事業期間:平成21年度~令和5年度(15年間)
- 緊急輸送道路:該当(第1次緊急輸送道路)
- 現在の交通量(H27):18,854台/日(現道自動車)  
52人/12時間(現道歩行者)  
279台/12時間(現道自転車)
- 計画交通量(R12):9,100台/日(現道自動車)  
8,000~  
11,000台/日(バイパス2車線区間自動車)  
16,500台/日(バイパス4車線区間自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路  
をつくります

地元  
の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。(地元住民)
- ・榛名から前橋高崎方面に行くには、渋滞が激しい場所があり非常にアクセスが悪い。(地元住民)
- ・東西方向を結ぶ道路が少ないため、バイパス道路には非常に期待している。(関係市長)

成果を示す項目	実施前
移動時間(富岡市から県庁)	約62分
町屋橋西交差点(高崎市)の渋滞長	280m



実施後(目標)
約38分(24分短縮)
0m(280m短縮)

実施前

◆通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、前橋~高崎・安中を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。

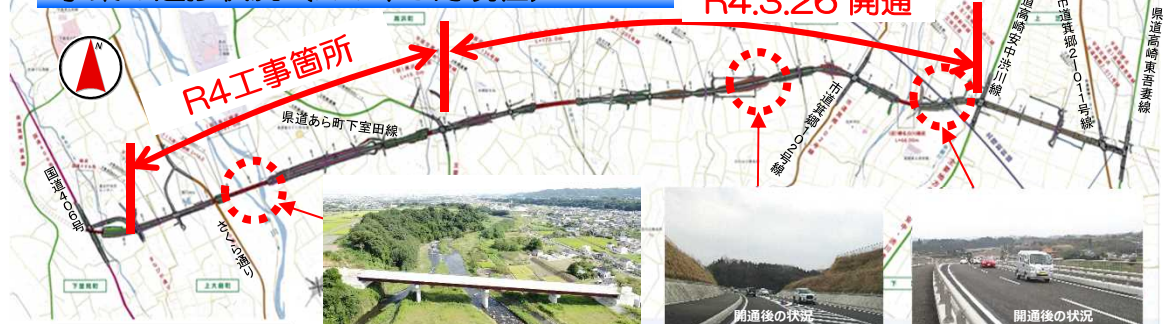


実施後

◆バイパス整備により前橋~高崎・安中エリア間の移動が円滑になり、災害時においても広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能になります。



事業の進捗状況(R4年3月現在)



今、何をしているか

令和3年度は、道路改良工事、橋梁工事を実施し、2.4km区間を供用しました。  
令和4年度は道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

●●●●●● 事業完了